

代表挨拶



特許庁技術懇話会代表委員

須藤 康洋

本日は、お忙しい中、また大変暑い中、私どもの懇親会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

恐縮ではございますが、開会にあたり、一言ご挨拶を申し述べさせていただきます。

私ども特技懇は、今年、4月1日に入庁された36名、4月30日に審査官補として入庁された50名、計86名を新会員として迎えることができました。

本日この会には、今申し上げました新会員を含む多くの正会員、ならびに退職された会員からなる特別会員の方々に加えまして、日頃から大変お世話になっております裁判所、審議会、関係省庁、関係団体の皆様にも多数ご来賓としてお越しいただいております。

ご来賓の皆様には、この場をお借りして、日頃のご指導とご支援に深く感謝いたしますとともに、私ども会員と親しくご歓談いただければ幸いです。

さて、世の中、「質」が叫ばれております。

審査官・審判官は、「世界最速・最高品質」の知財システムの実現という目標達成のため、日々頑張っ

ているわけではございますが、スピード感を持ちつつ、かつ質を向上させるためには、ウルトラCのようなものはなく、一人ひとりが努力をし、切磋琢磨していくことが重要ではないか、というふうに思っております。

私ども特技懇の会員は、知的財産の保護に直接携わるものとして、わが国の産業競争力の向上に少しでも貢献できるよう頑張る所存です。

どうぞ、ご来賓の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い致します。

本日は、何かと至らない点もあるかと存じますが、お時間の許す限りごゆっくりとご歓談いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。